

令和5年度学生懸賞論文審査結果について

令和6年2月15日

大分大学経済学部教育研究支援室

本年度の学生懸賞論文には26編の応募があり、審査の結果、次のように入選者を決定しました。
(審査委員：城戸 照子, 木村 雄一, 村山 悠, 渡邊 博子, 山根 陽一)

1等 1編

人的資本開示の意思決定有用性
2021250 水谷 陽菜

2等 2編 (順不同)

七島蘭の取引価格の上昇における豊業者の役割
—加工工程を必要とする希少農作物の高付加価値化をめぐる—
2121288 渡邊 望未 2121138 田上 紫峰 2121064 栢多 大輔 2121234 松田 啓吾

別府市共同温泉における存続条件 —各温泉の立地条件と経営対応に注目して—
2121250 宮本 達弘 2121061 上長者 凜 2121062 神山 廉 2121286 渡辺 明佳

3等 1編

大分市の製造業における企業誘致政策について
—シフト・シェア分析を用いた実証的考察—
2021801 岩下 誠幸

佳作 5編 (順不同)

MaaSを活用した遠隔ショッピングイベントの提案
—大分県豊後大野市の公共交通の現状と課題を背景に—
2121042 大久保 遥星 2121121 杉崎 遥香 2121163 藤 凌雅 2121280 吉弘 愛菜
2121282 若林 莉奈

ふるさと納税制度における地域おこしの可能性 —大分県内の自治体や企業を事例として—
2121002 朝倉 大智 2121145 田嶋 実夢 2121202 飯田 拓真 2121802 佐藤 有珠

受援型デモンストレーションによる住民の周辺環境に対する意欲向上
—宇佐市安心院龍王地区を事例に—
2021190 中野 芽夢

中小企業における「シンプル」管理会計の適用に関する一考察
2121156 筒井 優朗 2121007 阿部 愛琉 2121051 奥田 こなつ 2121209 廣岡 真景
2121283 脇水 美羽

日本の長時間労働問題を解決するために —ドイツの労働環境と比較して—
2021248 丸山 航平

なお、下記の応募論文17編は選外となりました。(順不同)

収益認識会計基準の導入に伴う企業会計と法人税法の乖離を巡る一考察 —収益の計上額に着目して—

片岡 大

新興アニメ会社における制作方式の転換 —ツインエンジンを事例として—

野津原 敏正

管理会計と経営理念の関係性に関する一考察 —経営理念が成果に繋がらない要因を管理会計が特定できるのか—

前 千聖・東 咲希・川崎 ゆき子・河野 侑希・中川 祐菜・森川 聖和

ブラックバイトと今後の対策 —「妥協の労働メカニズム」の観点から—

橋本 怜旺・中村 渚沙・柳井 研人・外園 茉菜・工藤 完太・矢野 美夢

特定地域づくり事業協同組合制度の利用による地域農業の存続可能性 —農業特化型の事業協同組合の事例研究—

和田 一華

三省合意改正が多方面に与える影響 —政府のインターンシップ実施に対する目的と実態の乖離—

衛藤 真帆・上村 真央・坂根 奈々子・松浦 颯来

ドローンを用いた農薬散布の現状と今後の展望 —大分県豊後大野市緒方町X集落を事例に—

智羽 秀暁

大分市の古着販売の実態

松原 旺起・磯貝 琴美・大浦 日梨子・高橋 善成・涌井 航大

ADKARモデルとアサーションの活用による域学連携の円滑化

—大分県杵築市大内地区住民自治協議会の役員と学生の間を事例に—

近藤 英

地域公共交通の利用促進における課題への解決策 —大分県臼杵市のバス事業を事例に—

那賀 たま乃・大野 夏生・緒方 こよい・後藤 萌乃香・西村 日那・二ノ宮 未羽

海外投資家の行動を踏まえた株式持ち合いの必要性和適切な対応

長田 祐樹

空き家バンク補助金制度の課題と改善策

—大分県『宇佐市うさ暮らし定住支援事業補助金(家財道具処分費)』制度を事例に—

西丸 樹唯

大分県安心院地区の農泊における受入家庭の変容

江藤 ひなた

孤立する高齢者を取り残さない研究 —地域活動に参加しない要因と大学の可能性—

外屋敷 月乃・板井 愛里・岩田 凌汰・兒島 勘太郎・橋本 大成・松山 莉歩

手軽な持ち寄り共同調理イベントの開催によるモチベーションデザイン

—大分県宇佐市安心院町の関係人口を事例に—

水谷 心春

日本におけるテレビとネットの融合 —旧来型思考に縛られないテレビ局の未来—

上本 琴音

持続可能な農業へ向けた課題

小原 佑斗

以上